

連携

栗原市立栗原中央病院
広報誌 令和7年5月発行
編集 地域医療連携室

第94号

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます

新年度のご挨拶

病院長 中鉢 誠司



トランプ大統領の相互関税発動によって世界が揺れ動いている中、患者数の減少、厳しい診療報酬改定、物価高と人件費増もあり、多くの急性期病院が経営の危機に瀕しています。当院も例外ではありません。改定による政策誘導に従うのは少し癪に障りますが、昨年度改定からはじまった地域包括医療病棟の新設と協力対象施設入所者入院加算の取得に取り組んでいます

地域包括ケア病棟は急性期疾患治療後のリハビリと退院調整や軽症患者の入院を行う病棟ですが、この地域包括医療病棟は増加している高齢者救急に対応するための病棟です。特に85歳以上の高齢者は要介護の状態が多く、手術などの積極的治療の適応ではない事が多いため急性期病棟ではなく、この包括医療病棟に入院します。入院後疾患の治療と並行してリハビリ、栄養管理などを行って入院前の在宅等への退院を目指します。基準が厳しく参入する病院が少ないなか

今年1月に東北で初めて開設しました。今後より良い病棟にしていきたいと思ひます。

昨年4月から施設入所者入院加算の算定を目指して、3つの協力施設と毎月1回zoomによる会議を開き、新たな入所者に関する情報交換を行っています。年々施設からの救急搬送による入院も多くなってきており、情報共有によりスムーズに対応できていると思ひます。今後は情報共有する施設を増やすとともに、患者（入所者）のACPなどの意思決定支援にも協力していければと思ひています。

2025年は国際量子科学技術年になっているそうです。量子力学と聞いただけで難しいイメージですが、その特徴のなかにどんなに遠く離れていても二つの量子が連携して変化する「量子もつれ」というものがあります。量子コンピューターにも使われている理論のようですが、そんな風に離れた施設間で連携できればいいと空想しています。

皆さん今年も宜しくお祈ひします。

部署紹介

【 医事課 】

本年4月の人事異動により、医事課長を拝命いたしました千葉心一です。
そして、私とともに課長補佐として伊藤庸介が転入しました。
どうぞよろしくお願いいたします。

千葉は業務すべてがはじめての経験ばかりで、同僚から学んで日々を過ごしています。

一方、医療事務を知り尽くしている伊藤補佐は、水を得た魚のように生き生きと仕事に励んでいます。

医事課は経験豊富な医療クラークとニチイ学館の皆さまとともに構成され、職場には緊張感があり、大半が女性のため、明るさと華やかさに満ちています。

この職場環境のなか、私たち男子2人も早く環境に慣れ、自分色の輝きを放てるよう奮闘してまいります。

それでは、医事課の業務概要をお知らせします。

医事課は病院組織の中で収益業務の要となる部署で、業務は大きく分けて2つあります。

1つ目は、窓口で外来、入院患者の受付をしたり会計を行う患者さま対応の業務です。

もう1つは、診療報酬の請求や、医事統計等に関する事務処理業務となります。

地域住民の医療需要に応えられる患者中心の医療サービスを実施することを目的とし、患者が安心して診療を受けることができるよう、受付・会計等の業務において、患者サービスの向上を図る。診療情報の査定減の防止、請求漏れの対策等、病院収入の確保に努めるなど、6項目の業務方針を掲げて対応しています。



医事課の事務職員



診療効率の向上に欠かせない医療クラーク



経験豊富で明るいニチイ学館の皆さま



新規採用医師紹介

令和7年4月1日・5月1日付で採用となりました先生方です。
 よろしくお願ひいたします

整形外科 部長 さいとう ひでお
 齋藤 秀雄



本年度より赴任いたしました。
 骨折治療を中心に関わ
 っていければと考えて
 おります。
 限りはありますが、よろ
 しくお願ひいたします。

循環器内科 医長 あおやなぎ はじめ
 青柳 肇



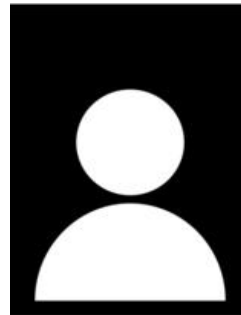
令和7年5月より循環器内科
 医長として赴任いたしました。
 栗原市、県北の住民の皆様の
 健康の助けとなれるように栗
 原中央病院の皆様と協力して
 より良い医療を提供できるよ
 うに努めて参ります。どうぞ
 よろしくお願ひいたします。

内科 医員 ちば ももこ
 千葉 萌々子



本年度より内科医員と
 して赴任いたしました。
 栗原市、県北の医療に貢
 献できるように努めて
 参ります。
 よろしくお願ひします。

循環器内科 医員 やすかわ はるか
 安川 遥



4月より赴任いたしまし
 ました。循環器内科の安川で
 す。地域の皆様のお力にな
 れるよう精一杯努めて参
 ります。どうぞよろしくお
 願ひいたします。



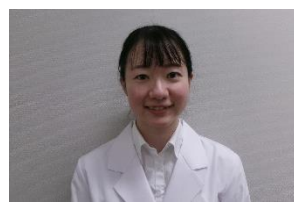
臨床研修医紹介



いなば こうすけ
 稲葉 康祐



はが けんいちろう
 芳賀 健一郎



ひろた ゆりか
 廣田 裕利佳



みずの しま
 水野 史章

人事異動

令和7年3月31日付退職

大変お世話になりました

内科副医長	齋藤 悠	内科医員	山内 健太郎
内科副医長	齋藤 直美	循環器内科医員	横山 大樹
内科医員	木村 千尋	整形外科医長	佐藤 宏陽
内科医員	木村 美鈴		



糖尿病外来についてのお知らせ

4月より医師2名での診療体制となるため、下記のとおりとさせていただきます。

診察日： 毎週 月・水・金曜日（予約制）

*FAX による予約が必要となります。

- ・宛名は『内科 糖尿病担当医』とご記載ください。
- ・「紹介患者受診依頼票」へ希望日（都合の悪い日）等をご記載ください。（ご希望に添えない場合もございます。）



がんサロン「サロンdeよらいん」開催

がんサロン「サロンdeよらいん」は、がん療養中の方やご家族、がん体験者が集まり、お互いの体験や気持ちを語り合い支えあう場所です。今年度も毎月の第2火曜日（8月のみ第3火曜日）に定期開催することになりました。

ご都合のつく日で構いません。お申し込み不要です。他医療機関通院中の方も大歓迎です。お気軽にご参加ください。

がん療養中の患者様とご家族様へ
サロンdeよらいん
お茶を飲みながら、お話しませんか？

「サロンdeよらいん」とは…
がん療養中の患者様・ご家族、がんを体験された方が集まり、お互いの体験や気持ちを語り合い、支え合う場所です。

開催日：毎月第2火曜日
場所：栗原市立栗原中央病院
時間：14:00～15:30
対象者：がん療養中の患者様・ご家族様・がん体験者
お茶代：100円
※申し込みは不要です。
栗原市外の方も大歓迎！
他医療機関通院中の方もどうぞ

栗原市立栗原中央病院 地域医療連携室
☎ 0228-21-5330(代表)

今年度も地域医療連携室をよろしく申し上げます

昨年度より引き続きとなりますが、スタッフのユニフォームも一新しました新たな気持ちで頑張っていきたいと思っております。

まだまだ至らない点も多くあると思っておりますが地域の医療・介護関係者の皆様と連携しながら業務を行ってまいります。



【編集後記】

新年度が始まり、連携室も新メンバー加入やユニフォームのリニューアルなど、新鮮な気持ちで毎日をお過ごしております。

誌面でも皆様に興味を持っていただける内容をお届けできればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

栗原市立栗原中央病院

〒987-2205

宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地1

(代表) TEL：0228-21-5330

FAX：0228-21-5350

地域医療連携室

(直通) TEL：0228-21-5335

FAX：0228-21-5336

<https://www.kurihara-central-hp.jp/>